

国立大学法人東京学芸大学工事請負等契約要項の一部改正について

改正理由：文部科学省発注工事請負等契約規則の改正に伴い、所要の改正を行うものである。

改 正	現 行
<p>〔省略〕</p> <p>(契約書の記載事項)</p> <p>第18条 取扱規則第33条に規定する契約書の記載事項は、工事請負契約においては、この要項により取り扱うものとする。</p> <p>2 工事請負契約の契約書を作成する場合は、次に掲げる事項を記載しなければならない。</p> <p>(1) 請負に付する工事の表示</p> <p>(2) <u>請負代金額</u></p> <p>(3) <u>各会計年度における請負代金の支払の限度額（国庫債務負担行為に係る契約の場合に限る。）</u></p> <p>(4) <u>各会計年度における請負代金の支払の限度額に対応する各会計年度の出来高予定額（国庫債務負担行為に係る契約の場合に限る。）</u></p> <p>(5) <u>施工場所</u></p> <p>(6) <u>着工時期</u></p> <p>(7) <u>完成期限</u></p> <p>(8) <u>完成通知書の送付先</u></p> <p>(9) <u>請負代金の支払いをすべき回数</u></p> <p>(10) <u>前金払をすべき金額及び時期並びに当該前金払をしたものの使途及び当該使途以外の使途に使用禁止の特約（前金払をする場合に限る。）</u></p> <p>(11) <u>請負代金（部分払金及び前払金を含む。）の請求書送付先</u></p> <p>(12) <u>契約保証金の額（契約の相手方が、保険会社との間に本学を被保険者とする履行保証保険契約を締結する場合及び公共工事履行保証証券による保証を付する場合は、そのことの表示、又は契約保証金を納付しない場合にあつては、その旨の表示）</u></p> <p>(13) <u>工事の目的物又は工事材料についての火災保険その他の保険の契約に関する事項（保険契約をさせる場合に限る。）</u></p> <p>(14) <u>工事請負契約基準によるべき旨の表示</u></p> <p>(15) <u>契約に関する紛争の処理方法</u></p> <p>(16) <u>契約書記載外事項の処理方法</u></p> <p>(17) <u>その他工事請負契約に関し必要な事項</u></p>	<p>〔省略〕</p> <p>(契約書の記載事項)</p> <p>第18条 取扱規則第33条に規定する契約書の記載事項は、工事請負契約においては、この要項により取り扱うものとする。</p> <p>2 工事請負契約の契約書を作成する場合は、次に掲げる事項を記載しなければならない。</p> <p>(1) 請負に付する工事の表示</p> <p>(2) <u>請負代金</u></p> <p>(3) <u>施工場所</u></p> <p>(4) <u>着工時期</u></p> <p>(5) <u>完成期限</u></p> <p>(6) <u>工事完成通知書の送付先</u></p> <p>(7) <u>請負代金の支払いをできる回数</u></p> <p>(8) <u>前金払をできる金額及び時期（前金払をする場合に限る。）</u></p> <p>(9) <u>請負金額（前金払を含む。）の請求書送付先</u></p> <p>(10) <u>契約保証金の額（契約の相手方が、保険会社との間に本学を被保険者とする履行保証保険契約を締結する場合及び公共工事履行保証証券による保証を付する場合は、そのことの表示又は保証金を納付しない場合にあつては、その旨の表示）</u></p> <p>(11) <u>工事の目的物又は工事材料についての火災保険その他の保険の契約に関する事項（保険契約をさせる場合に限る。）</u></p> <p>(12) <u>工事請負契約基準によるべき旨の表示</u></p> <p>(13) <u>契約に関する紛争の処理方法</u></p> <p>(14) <u>契約書記載外事項の処理方法</u></p> <p>(15) <u>その他工事請負契約に関し必要な事項</u></p>

〔省略〕

附 則

この要項は、令和3年4月1日から施行し、令和2年5月14日から適用する。

〔省略〕